

学校教育目標	○自ら学び、よりよい生き方を目指す生徒を育てます。(知) ○ともに学び、互いに認め合う生徒を育てます。(徳) ○生命を大切に、健やかな心と体を作る生徒を育てます。 ○地域社会を理解し、社会の一員として貢献する生徒を育てます。(公) ○広い視野をもち、国際社会を理解する生徒を育てます。(開)				
	創立 74 周年 児童生徒数: 347 人	学校長 佐藤 直博	副校長 大田 雅裕	3 学期制	一般学級: 9 個別支援学級: 3
学校概要	主な関係校: 峯小学校、帷子小学校、(宮谷小学校、浅間台小学校)				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	宮田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
人間関係形成能力・社会形成能力 自己理解・自己管理能力 課題対応能力 社会参画意識	宮田中 峯小 帷子小	「安定した自己肯定感」と「円滑なコミュニケーション能力」を身に付けた「心身ともにたくましく生きる子ども」 ・小中ブロック学校運営協議会を活用し、保護者・地域の意見も取り入れながら、「9年間で育てたい資質・能力」を継続して分析する。 ・小中教員による教科・領域に関する情報交換、授業参観、テーマに沿った研究・研修協議を年3回行い、各校で共有する。 ・児童生徒指導、特別支援教育に関する情報交換を推進する。

中期取組目標	○全職員が一丸となり、小学校関係者、保護者、地域とともに、「9年間で育てる子どもの姿」の実現を目指します。 ①社会で生き抜く力を育成するため、キャリア教育・平和教育を柱とし、学校教育のあらゆる場面に取り入れます。 ②「確かな学力」定着のため、ICT機器を活用しながら個に応じた支援・指導を実践するとともに、授業改善に努めます。 ③「生徒会憲章」を柱とし、生徒の自尊感情・人権意識を高め、他者と尊重し合う生徒を育成します。 ④生徒の自治活動を推進し、自主自立の精神を養います。 ⑤地域とのつながりを大切にし、地域に貢献できる生徒を育てます。 ⑥信頼される学校を目指し、職員相互が啓発し合い、市民感覚を磨いて学校組織の改善と活性化を推進します。 ⑦生徒・保護者・地域との相互理解をけかりながら「働き方改革」に取り組み、職員集団がより力を発揮できるよう努めます
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①単元ごと、授業ごとのねらいを生徒と共有し、見通しをもって主体的に学ぶ姿勢を引き出す。 ②特別支援教育の視点を取り入れたわかりやすい授業を目指す。 ③ICT活用、主体的・対話的で深い学びの共通理解を進めるため、教科の枠を超えた授業研修を実施する。
担当	学習計画係	
徳	人権教育	①職員への人権研修、生徒への講演会や講話の充実を図り、すべての教育活動の中で、人権尊重の教育を推進する。 ②「生徒会憲章」「平和教育」を柱として、互いのよさを認め合い、高め合う取組を行う。 ③特別活動や教育相談を通じて生徒に寄り添い、自尊感情を高めていく。
担当	人権教育担当	
体	健康教育	①新体力テストの結果をもとに、生徒一人ひとりが体力向上の課題意識や目標をもてる取組を行う。 ②防災、事故・ケガの防止等の保健安全、喫煙防止、薬物乱用防止、食育等の健康教育に関する授業を実施する。 ③生徒会活動や授業を通じ、生活習慣の改善・向上を図る。
担当	体力向上推進・食育担当	
公開	自分づくり教育	①職業インタビューや職業講話、職業体験を通じ、自分と社会のつながりに気づき、社会に貢献しようとする姿勢を養う。 ②平和教育を通じ、広く世界を見る目を養い、幸福を追求する心を養う。 ③進路学習を通じ、自分の個性や適性の理解を図り、主体的に進路を選択する姿勢を養う。
担当	総合的な学習の時間担当	
いじめへの対応		①生徒一人ひとりのよさを認め、自尊感情を醸成する。また、そのための生徒会活動を推進する。 ②年3回の教育相談や生活アンケートにより、生徒に寄り添い、細かな変化を見逃さない体制をつくる。 ③月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、早期にいじめを認知するとともに再発防止に努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①メンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心としながら定期的な自主研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。 ②授業研究、校内研修の充実と、研修成果の共有を図り、教師力向上を目指す。 ③簡潔で機能的な校内組織の構築と有機的連動を図り、ワークライフバランスを向上させ、主体的な働き方につなげる。
担当	学年連絡会	
地域学校協働事業		①宮田中ブロック学校運営協議会で、各校の特徴を生かしながら、中学校ブロック共通の課題を意識し9年間で育てる資質能力を育成する。 ②より広い視野をもち、小中9年間並びに幼保も含めた教育活動の改善を継続して行う。
担当	生徒指導専任・小中一貫教育担当	
児童生徒指導		①綿密な報告・連絡・相談体制のもと、事例には組織的に対応する。 ②人権尊重の視点に立ち、職員相互の意識改革を図りながら、学校の決まりの見直しを進める。 ③子どもの社会的スキル横浜プログラムやYPAアセスメントを活用したり、カウンセラーや関係機関と連携を密にしたりする等、多角的な支援、指導を行う。
担当	生徒支援係	
特別支援教育		①特別支援に関する研修を実施し、学校におけるユニバーサルデザインの理解を深め、実践する。 ②関係機関との連携を密にとり、適切な支援につなげる。
担当	特別支援教育委員会	
情報教育		①ICTへの見識を深め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のための活用について、研修を継続する。 ②生徒の情報活用能力の向上を目指し、オンラインを活用した学習を定着させる。 ③日常的なデジタルシティズンシップ教育を推進し、自律した活用を目指す。
担当	情報教育担当	